



国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後 12:30～1:30

例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡

事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

例会会報

第 2344 回

平成 18 年 12 月 26 日(火) 晴 (本年度 第 24 回)

会長報告

副会長 樋渡 美智子

今日は平成 18 年の最後の例会になります。

さて、今年ほど教育の話題が多い年はなかったのではないかでしょうか。教員の不祥事、校内外のいじめによる自殺、非行、子ども虐待、登下校の事件等。教育が崩壊しているといわざるを得ませんし、永く教育に関わってきた私にとって、身につまされるものがあります。

今、ゆとり教育はまちがっていたという反省もあるとか。学校は何をしているのか、教員の資質はどうなんだ。子どもが見えない先生が多い・・・等。一般にいう教育の危機と言われています。早速、「教育再生会議」を設立。教育に対する要求の多様化と多くの期待感のなかで、その解決にむけて多くの先生方が、意欲的に働いているのも現状です。子どもを預かる学校で、子どもの安全を守ることは、最も重要で、子どもの危機管理は教育の原点です。しかし、想像や予想を越えた不幸な事故・事件が現におこっているという現実。

私も管理職時代に 10 人以上の子ども達を不幸な目にあわせただろうと思われる危機的な場面がありました。それは全校遠足の日、気温 20 度以上の秋晴れ。登山を開始して 1 時間後だったろうか。突然「子どもたちがスズメバチにさされました。」の電話。「10 人以上」「青くなつてふるえている」「呼吸がおかしいようだ」など。携帯電話はまだ珍しく、山の中では通じない。連絡は近くの麓まで下りてきてからの連絡。「先生も何箇所もやられた」「車が足りない」「定員オーバーでもよいから乗せて」麓に緊急用に準備していた車で庄内病院へ。1 名の子は肝機能が低下し 1 ヶ月の入院。職員 1 名数日間治療。翌日の日曜日に職員が付添い、全員を再度治療へ。

遠足の下見、1 ヶ月前と前日に綿密な下見。山道の要所要所に職員を配置し、安全のためには万全を期した筈であったが、スズメバチは、道端の雑

草の中にあった大木の根元に小さな穴があり、子どもが棒で草を叩いて歩いていたため、群れをなして襲ってきたものであった。それにしても 20 箇所もさされても身を呈して子どもをスズメバチから守ってくれた先生。体の異常を感じながら最後まで学校との連絡をしてくれた先生。庄内の小中学校教職員 2480 人が、子ども達 26872 人が安全で安心・安定すべく教育にかかわっていると信じたい。

「献身」

会員スピーチ

RI2800 地区パストガバナー 藤川享胤



1 年に一回、RI 一年目の理事のところで、ガバナー、パストガバナー、ガバナーエレクト、ノミニーと配偶者が召集されロータリーゾーン研究会が行われます。今年は 11 月 24 日、25 日、26 日の 3 日間岡山で開催されました。このロータリー研究会に出席いただきます歴代の国際ロータリー会長、並びにロータリー財団の管理委員長は我々日本のロータリアンにそして私共の日頃の奉仕に対して最大限の賛辞を送り続けて下さいます。私はそれを、職業奉仕を金看板に掲げロータリーライフを歩んでいるこの国のロータリアンにふさわしい適切な評価と受止めます。事実、2002、03 年国際協議会の研修リーダーを勤めた時の日本のガバナーエレクトのロータリーの理念に対するレベルの高さはそれを裏付けるものでした。

今年の 6 月私はマルモ、コペンハーゲンで開催された国際大会で SAA を務めました。ある朝ホスト実行委員会からその日開催されるワークショップの部屋割りについての説明があり、説明のあと一人の SAA から日本語のワークショップはどこで行われるのですか? という質問がありました。それに対してホスト実行委員会はこう答えたのです。「今年日本語のワークショップはありません。日本語のセッションを設けても残念ながら出席者は余り多くないということを申し送られております。登録者の伸び

悩みによる緊縮財政を余儀なくされておる私どもは無駄は全て削除しなければならないことをご理解頂きたいと思います。」私は怒りや憤りを感じる以上に無念さとプライドの喪失による肩身の狭さを感じずにはいられませんでした。

私は仲間の同志に尋ねました。「今の日本のロータリアンに欠けているものがあるとするなら、それは何だと思いますか?」彼らはこう答えました。「日本のロータリアンは素晴らしい、世界のトップクラスであることに間違いない。でもあえて言わせてもらうとするならば、それは『献身』ではないでしょうか」と。私はハロルド・T・トーマスが1947年10月オークランドロータリークラブで行ったスピーチを思い出しました。

国際奉仕4つのテストと名づけた彼のスピーチは1つ、愛国心は全ての人間に共通であるが、果たして私たちは愛国心を超越して世界を見ているであろうか。そして私たちはこの国の国民の一人であると同時に世界の一市民であるということをしっかりと認識しているありますでしょうか? 2つ、私たちは少しでも国家的・人種的優越感を持って物事を考えようとする傾向に歯止めをかけようとしているありますでしょうか? 3つ、私たちは他国の人たちとの間に共通の立場を探して合意に達しようと真剣に考えているありますでしょうか? そして今1つ、私たちは地球上の平和というものは、善意の人々の上に全てもたらされると本気になって信じているありますでしょうか? そして何よりもその信念に基づいて行動しているありますでしょうか。

1947年といえば、第二次世界大戦が終わって2年、世界には勝者と敗者の間に憎悪の感情がまだ根強く渦巻いていた時代です。そんな中で戦勝国であるニュージーランドのロータリアンがこのような善意に満ちたしかも先見性のある意見を述べられたということに私はロータリーの素晴らしさを実感し、胸震えるほどの感動を覚えずにはいられなかったのであります。ロータリーが国際奉仕に取り組むようになったのはこのハロルド・T・トーマスの献身という熱い思いがその根底にあります。ロータリーの原点は職業奉仕であると金科玉条の如く言い続けてきた私どもは実はその言葉に酔いしれていた傾向はなかったでしょうか。どれだけのロータリアンが職業奉仕の根幹を理解して実践しているでしょうか。

六本木ヒルズのセレブの実業家たちは、「企業活動の目的は、事業を通じてできるだけ多くの利益を挙げ、その利益を株主に還元することである」そう公言をしてはばかりませんでしたが、経営の神様と

いわれた松下幸之助さんは「企業の利益とはその企業がどれだけ社会に貢献したかの証である。多くの利益が与えられたということは、その利益を用いて更に多くの社会貢献をせよという天の声である」と残されました。この言葉は日本型経営が世界に誇るべき至宝であり、実はロータリーの職業奉仕の根幹を言い当てていると思います。「利益」と「社会貢献」どちらが企業活動の究極の目的であり、最優先すべき経営方針なのかロータリーの職業奉仕は経営者にその選択を迫るのであります。

次年度会長である真島エレクトは「学ぼうロータリー」をクラブの強調事項に掲げるそうです。ロータリーは真に学ぼうとする人にとってはまさに宝の宝庫です。ロータリーでは親睦という言葉をよく耳に致しますが、ロータリーでいう親睦とは酒ありきではなく、友ありきがスタートです。心から信頼でき、しかも敬愛できる生涯を通して付き合いたいと思う異業種の友のことです。ロータリーでいう友とは仲間というよりはむしろ同志に近い存在です。その信頼できる同志と飲み交わすお酒だからこそ心地よく酔いしれることができます。

委員会報告

出席委員会

委員長 迎田 健

本日の出席		前々回の出席	
会員数	47人	出席率	72.73%
出席数	29人	修正出席数	34人
出席率	65.91%	確定出席率	77.27

マイアップされた方

藤川 享胤君 本間 昭吉君 渡辺 英一君



本間昭吉君 鶴岡市芸術祭で私どものサークル「庄内写真研究会」が優秀賞を受賞しました。

クリスマス例会二次会参加者一同 クリスマス家族例会の二次会楽しく過ごさせていただきました。

藤川享胤君 役員選出されました来年度役員の方々、御苦労さまです。

真島吉也君 ①樋渡さんのスピーチ、興味深くお聞きしました。②藤川さんのお話、来年度の私の活動材料の一部にさせて頂きたいと思います。

樋渡美智子君 ①会長代理としてどうにかまとまりました。②第一回のつるおか芸術祭の会報の第一面に息子の絵を飾っていただきました。

佐藤孝子君 藤川PGのロータリーについてのすばらしいスピーチ、ありがとうございました。

訂正 前号裏面の年次総会の報告に誤りがありました。
「会長：樋渡美智子君 副会長：富樫松夫君」に
訂正させて頂きます。